

6月 定例教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--|--------------------|
| 1 | 日 時 | 令和4年6月30日(木) | 午後5時30分から午後6時30分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 | 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
秋元富敏委員、鈴木好美委員、大橋弘和委員、阿部麻衣子委員 | |
| 4 | 出席職員 | 藪田欣也教育部長、鈴木智也教育総務課長、内藤弘隆学府一体校推進室長、
水野康代学校給食課長、小沼裕樹学校教育課長、岡本由紀子中央図書館長、
竹内直文文化財課長、伊藤方伸地域づくり応援課長、伊東直久幼稚園保育園課長、
大石修次放課後児童支援室長 | |

(傍聴人：0人)

(進行委員：鈴木好美委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

○皆さんこんにちは。総合教育会議から引き続き定例教育委員会になりますが、よろしく申し上げます。まず1点目は、教育委員会の学校訪問が始まり、昨日は阿部委員と一緒にこども園、それから豊浜小学校へ行ってきました。特に福田こども園は、先生方の努力により細かい環境がたいへん整ってきたと感じました。豊浜小学校につきましては、小規模ではありますが、豊浜ベーシックという授業形態があり、独自にその学校の特色を生かしながら力強い教育が推進されています。それとあともう一つ、ファミリー豊浜という掛け言葉で、先生方同士でいろいろな悩みごとや、問題点について率直に話し合う時間を設けていて、大変すばらしい経営をしていたと感じました。2点目は、コロナについてです。昨年度はオリンピックの開催とコロナの流行への対応の中、中体連の夏の大会や夏休みの期間の問題が大変でしたが、今は落ち着きを見せ、現在は学級閉鎖が1つだけという状況です。学校現場は、コロナ対策に自信を持っていいのではないかと思います。感染する児童・生徒も今は少なく、安定した学校生活を送ることができ、中体連の体育大会も、この暑さの中で順調に進んでいると聞いています。梅雨明けとなり、暑さも厳しくなりますが、熱中症に十分気をつけていただきたいと思います。3点目は、情報化社会の中で何を大切にしていこうかということです。教育DX、ICT教育、GIGAスクール構想など、教育環境は一変しました。特に情報量の多さは目を見張るものがあり、横文字の氾濫、インスタグラム、ユーチューブなどの新たな情報の提供があり、なかなか処理できないときがあるのが事実です。第一に、情報処理能力を向上させていくことが大切です。児童生徒も同様で、どの情報の山とどの情報の山を触れておいた方が良く、この情報の山はこれぐらいの理解でいいだろうと大まかな判断ができることが大切です。横文字にしてあると、何か新しく良いものであるように思いがちですが、騙されないようにしなくてはならないと思います。しっかりと翻訳していただき、外国語文化も考慮しながら、しっかりと理解でき、この横文字は確かに価値があるという選別をするということが必要です。横文字が氾濫していても、なかには私たちが生きていくために必要な内容や有効な内容も数多くあり、有効なものにするためにはいろいろな内容の関係性をまとめ、例えばウェビング方式などで、自分とのかかわりの中で要約することが大切です。先ず興味を持ち、選択し、理性をもって選抜し、構成力を持って要約する。現代社会の中で必要なことであり、子どもたちには惑わされずに見極めて、自分を大切に生きていくための能力として育成していきたいものです。簡単

に言えば、情報に惑わされずに、自分自身を生きよということでしょうか。本日は暑い中ですが、よろしくをお願いします。

3 前回の議事録の承認

5月31日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○私からは開会中の6月議会の経過について報告します。前回の定例会でご承認いただきました給食費に係る2号補正予算は、6月9日に開会した6月議会の初日に先議により審議されました。本会議における質疑では、志政会の八木議員から今回の臨時的措置の背景となる「学校給食の現状」と臨時的措置の「保護者周知の方法」について質問がありました。現状については、物価高騰とそれに対応するための様々な工夫にも限度があることと、物価の先行きが不透明であることを回答しました。また、保護者への周知については、議決後速やかに文書にて通知する旨回答しました。共産党の根津議員からは、給食費15%増の積算根拠のほか、年度内に再度の補正や市費による措置の可能性について質問されましたが、再補正や市費による措置については、物価動向は予断を許さないため、今後検討していくと回答しました。2号補正予算は、16日に全会一致で可決されました。なお、一般質問については、配布した資料のとおりです。

5 議事

・議案第32号 令和4年度磐田の教育について

○3月に『令和4年度の教育目標と教育長・教育委員からお伝えしたいこと』を発行し、その概要に基づいた本年度の教育施策の詳細を『令和4年度磐田の教育』として策定します。今回お見せしているものは装丁や間紙はありませんし、5月の定例会で指摘を受けた自己点検評価の文章表現のレベルを上げるという修正もできていませんが、今後校正作業を行っていくなかで改めます。構成については、大きな変更はありません。主な変更点としては、e-S.P.E.A.K(イー・スピーク)やG I G Aスクール構想における授業改善などがあげられます。また、表紙の写真については、各課における教育活動の写真をピックアップし、関係者に了解を得たうえで掲載する予定です。今後は9月議会前に正副議長に説明をした後、市議会へ配付するスケジュールとなります。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第32号は原案どおり承認された。

・議案第33号 令和4年7月1日付け人事異動(教育委員会関係)について

○配布資料の右側の表が今回の異動内容となります。豊岡支所市民生活課の職員が豊岡学校給食センターへ異動となり、これに伴い、豊岡学校給食センターの職員が豊田学校給食センターへ異動となり、豊田学校給食センターの職員が大原学校給食センターへ異動となり、大原学校給食センターの職員が学校給食課学校給食グループへ異動となります。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第33号は原案どおり承認された。

・議案第34号 令和4年8月1日付け人事異動（教育委員会関係）について

○9月1日から磐田中部小学校単独調理場の給食調理及び配送業務が民間委託化されることに伴い、調理士2名が異動となるものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第34号は原案どおり承認された。

・議案第35号 磐田市立小・中学校通学区域審議会委員の委嘱等について

○磐田市小・中学校通学区域審議会条例第3条第2項の規定によって、小中学校の通学区域に係る諸課題について協議をする12名の委員を委嘱するものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第35号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 地域づくり応援課

○イベント等は記載のとおりですが、今年度から地域づくり応援課で通学路防犯カメラ設置事業補助金というものを始めました。地域づくり協議会や自治会が、通学路で少し不安に感じている所や、地域の見守り活動で補えない所などにカメラを設置する事業で、県の補助金をもらう関係で5月末をもって締め切らせていただき、主に中泉地区や見付地区から申請が上がってきました。実際に設置された際には、防犯カメラ設置という看板が掲げられますので、ご覧いただきたいと思います。

<質疑・意見>

なし

(2) 幼稚園保育園課

<質疑・意見>

■7月5日の発達支援研修会は、認可園希望者とありますが先生が対象となるのですか。また、どこでやるのですか。

□認可園の先生が対象となります。場所はアイプラザです。

■教育委員がその研修に参加することは可能ですか。

□課に戻って確認をして、参加可能かどうかを事務局へ伝えます。（後日、幼稚園保育園課より参加可能という連絡があり、開始時間を含む内容を教育委員へ伝えた。教育委員2名が参加した。）

(3) 教育総務課

○追加資料の中に、5月の定例会で指摘を受けた要保護及び準要保護児童生徒の認定数の相違について修正した資料があります。差し替えをお願いします。加えて、5月の定例会で要望がありました、ここ2～3年のコロナの影響による就学援助の要保護等の推移状況を表した資料がありますので、ご覧いただきたいと思います。また、6月議会における教育委員会関係の一般質問と回答を付けてありますので、こちらもご覧いただきたいと思います。

○放課後児童クラブの運営については配布した資料のとおりです。6月1日現在の利用状況となっておりますが、4月1日と比べますと利用者数は25名の減、待機児童数は26名の減となっております。

<質疑・意見>

■静岡産業大学で行う夏休み児童クラブは、学区など関係なく入れるのですか。

□No.1からNo.5については、待機児童数が30名を超えた場合の開設となります。No.6と産業大学については拠点という意味での開設で、本来ならば市の中心地区で開設できればいいのですが、支援員の数にも限りがありますので、こういった形での開設となります。

■以前産業大学で見学させていただいたとき、大学の先生が研究を兼ねて指導されていたのを見て、有意義な児童クラブだと感じました。今回はそのような取り組みはありますか。また、大学生などがクラブに関わる機会がありますか。

□以前産業大学に子どもの研究をされている先生がいた経緯で、産業大学で開設することになりました。ただ、現在はその先生が在籍していないため、以前のような形で行うことはできませんが、産業大学には保育科もあり、体操など運動部の活動を見学できたりしますので、そういったところを活用できればと思います。まだ具体的な内容は決まっていませんので、大学生がクラブに関われる機会が得られるよう依頼していきます。

■昨年と比較して夏休みの児童クラブを増設したところがありますか。また、定員が増えているところがありますか。

□全体的に見ると児童クラブの開設数は減っています。支援員の減少が主な理由です。今年度の申し込みは535名ありました。令和3年度もほぼ同じ人数でした。昨年まではコロナの自粛等がありましたが、受け入れ体制は良かったと思います。

■申し込みが535名で受け入れ数が369名ですと、入れない児童もいるのですか。

□実際は定員の2割増しで受け入れています。申し込んだ人は毎日来るわけではなく、親が在宅している場合は来ることができなかったり、次第に来なくなるケースもあつたりしますので、多めに受け入れるようにしています。

■夏休みの児童クラブは高学年が多くなりますか。

□高学年の割合が多いです。

■支援員が減っているということですが、何か対応はしていますか。

□民間の求人広告で募集したり、ららぽーとなどでの就職説明会で募集したりして、支援員の確保に努めています。

■以前、学校の各支援員に放課後児童クラブで働ける人がいないかと声をかけていたそうですが、今もやっていますか。

□支援員を通じて声をかけてもらって、夏休みだけなら参加できますとか、午後だけなら参加できますとっていただいた人はいました。それでもなかなか集まらないのが現状で、児童数は減っていても利用希望は増えているという状況です。

(4) 学校給食課

○去る6月27日に市内の小学校で発生しました異物混入の事故について報告します。本件は副食として提供した麻婆豆腐の中に約1cmの金属片が混入したもので、食事中の児童が違和感を覚えて吐き出したことで発覚しました。なお、この金属片はその後の調査により調理用の箸の一部が破損し、混入したものと判明しました。この事故報告を受け、学校給食課長が学校へ出向き、児童に健康被害が無いことを確認し、同日夕方に同校の教頭が保護者に謝罪しております。他の学級でも調査しましたが、同様の事故は発生していませんでした。再発を防止するため、同日中にすべての調理器具に破損が無いか点検し、これによって破損が確認されたものはすべて廃棄し、新たに調理器具を購入することにしました。また、今回の事故を受けて、他の調理場にも情報提供して注意喚起し、調理器具の再点検を指示したところです。今後このような事故が起こらないよう対策を講じ、安全な学校給食の提供に努めます。

<質疑・意見>

■調理器具は長い間使っていたものですか。

□破損したのは箸の取手の部分です。どうしても力がかかるところで、毎日使っていますので、傷みやすいのが現状です。

(5) 学校教育課

○4月の定例会で報告させていただいた結核対策委員の中で、磐田市医師会長が変更になりましたので報告します。

<質疑・意見>

■先日、もう土日は先生が部活動を見ないという報道があり、中学校の運営協議会に出席したときに部活動の運営を委託するという話が出ましたが、磐田市はどうなるのですか。

□特に土日の部活動の地域移行について学校と十分に協議しながら、磐田市のスタイルを模索している状況です。一律すべての学校を地域移行するのではなく、それぞれの学校、地域の事情や特性を考慮しています。一番重要なのが、部活動を行うすべての子どもが不利益を被らないことです。慎重に進めていきます。

□保護者等には来年度も部活動の体系は変わらないと言っています。マスコミの報道が先行していますが、学校教育の課程の中で部活動を残します。ただ、地域部活への移行が可能なところは順次移行していくということです。

■私はバレーボールの指導に携わっていますが、令和5年度から段階的に地域部活への移行を始め、令和8年度までに移行すると聞いています。ただ、学校単位でどういうスケジュールを立てているのかが分かりません。例えば、令和5年度に移行を進めるとなると、年内くらいには計画が決まっていけないと思います。現在どういうスケジュールで動いているのか知りたいと思います。

□令和8年度までにすべて移行とは考えていなくて、学校と協議しながら地域移行できると判断できるまで移行しないつもりです。したがって、具体的なスケジュールを示せないのが現状です。

□学校ごとにいつまでに移行するという目標はありますが、不確定な状況です。以前、つくば市教育委員会へ連絡して、総合スポーツクラブの状況を伺ったところ、3年から4年やって、15中学校区のうち移行できたのは3校だけという状況でした。その状況を踏まえ、筑波大学の生徒が企業のサポートを得て教えてくれるという試みを行っていますが、残った12校をすべて筑波大学が見られるかというは無理な話です。つまり、つくば市でさえもそのような状況だということです。スポーツ庁から補助金が出る話もありますが、指導者の費用を賄えるのかという問題もあります。また、指導者が辞めてしまうケースもあります。競技によって指導者がいる、いないもあり、費用をどうやって捻出するのか、経済的支援を受けられるのが課題となります。

(6) 中央図書館

○福田図書館の開館20周年を記念して、イベントを行います。お時間があればお立ち寄りください。

<質疑・意見>

■親子ふれあいひろば夏休みお楽しみ会はどんなことをやるのですか。

□ボランティアさんをお願いして人形劇や寸劇みたいなものやってもらう予定です。

(7) 文化財課

○福田小学校で行った訪問歴史教室に秋元委員がお越しくださいました。ありがとうございました。前回の定例会で委員から写真の撮り方によって文化財の見え方が全然違うのかと質問を受けましたので、本日その写真を持ってきました。(委員へ写真を見せる。)

<質疑・意見>

■老人会講座とありますが、どのようなお話をされますか。

□老人会の幹事の方と話をして内容を決めています。地域の歴史、発掘の話など要望はさまざまです。文化財課職員も担当分野があり、要望と合致した内容があれば講師として出向きます。

■小中学校だけでなく、一般市民を対象とした講座があるのは知りませんでした。

■「我こそはインフルエンサー」というバスツアーについて教えてください。

□市内の史跡や文化財を巡って、参加者が気に入ったものをツイッターやInstagramにアップしてくれて、それを見た人が磐田の文化財に興味を持ってもらうという企画です。文化財課は現地へ行って説明し、SNSに載っているかどうかをチェックするのは経済観光課で行います。

■新屋原1遺跡確認調査は、向陽学府のグラウンド内ということですが、具体的にどの辺りですか。

□プールの改修を行う予定があるとのことで、プール周辺の調査を行いました。周辺に中原古墳群という遺跡がありますが、その古墳の下半分であると判明し、旧石器時代の石器も見つかり、この周辺の開発は難しいという結果でした。

○福田小学校で行った訪問歴史教室に出席しましたので、その内容と感想を述べさせていただきます。3クラス85人の児童を対象に、午後1時30分から約90分間の授業を行いました。文化財課から3名の職員が見えて、旧石器時代から戦国時代までの歴史年表を掲げ、磐田で発掘された石器や土器や埴輪などを見せながら、当時どういった生活をしていたかなど、とても分かりやすく説明してくれていました。狩猟の生活から農耕の生活、家族から村が形成されて国になるというような流れを話され、小学校6年生にはとても良い内容の授業だったと思いました。中学生になれば本格的に歴史の勉強をしますが、その前にこういった全体像を知っておくのは重要なことだと思います。また遺跡地図などのパンフレットを配布したり、土器や石器に実際に触れることができたり、弓矢や火おこしの体験もできたりしました。子どもたちは貴重な体験をしたのではないかと思いますので、ぜひほかの学校でもやっていただけたらと思います。

7 その他

○6月に磐田西小学校と磐田中部小学校の学校運営協議会に出席したのですが、その中でパソコン検定を受けたいというお子さんがいて、近隣では検定を受けられるところが無いという話になりました。あと、マスクを外す子どもが少ないという話もありました。高校生はマスクを外している子が多く、通学時などにマスクを外している高校生を見させて、マスクを外すという指導をしているとのことでした。体育の時は必ず外しているそうですが、熱中症の方が心配になります。また、学校運営協議会の中から学校の先生の手助けとなることはないかと提案している人がいたりして、運営協議会もレベルアップしているなど感じました。

8 次回教育委員会の日程確認

- ・定例教育委員会

日時：令和4年7月28日（木） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

9 閉会

10 追加議案

- ・議案第36号 磐田市教育委員会教育長の辞職につき同意を求めることについて

本議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により非公開とした。